

Free Location Office 「いつでも、どこでも、自由自在オフィス」

ブリッジソフトウェア セットアップマニュアル  
バージョン 4.0

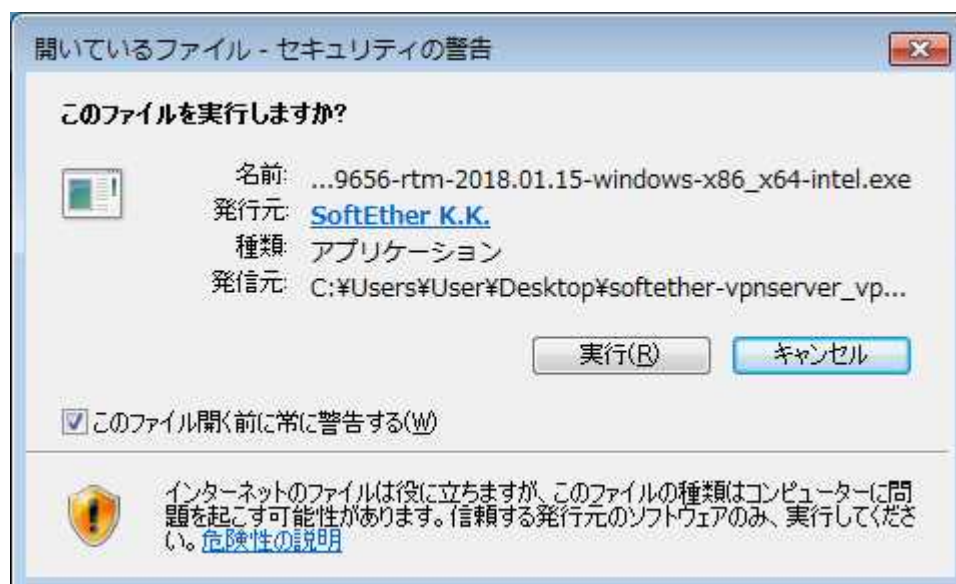
更新 2020年04月01日

【1】	ブリッジソフトウェアのインストール	P. 2
【2】	サーバー管理マネージャーの設定	P. 7
	① VPN Bridge への接続設定の作成	P. 7
	② VPN Server へのカスケード接続設定の作成	P. 11
	③ ローカルブリッジの設定の作成	P. 15
	④ 設定の作成後の確認と再編集	P. 19
	⑤ ユーザー認証に必要なパスワードの変更方法	P. 20
【3】	その他	P. 21
	① カスケード接続とは	P. 21
	② ローカルブリッジとは	P. 21
	③ ログファイルについて	P. 21
【4】	ブリッジソフトウェアのアンインストール	P. 21

## 【1】 SoftEther VPN ブリッジソフトウェアのインストール

設定後、コンピュータの再起動が必要です。(P. 19)

- ① ブリッジ ソフトウェアのダウンロードと実行
- ② インストールの開始



[次へ]を押下します。



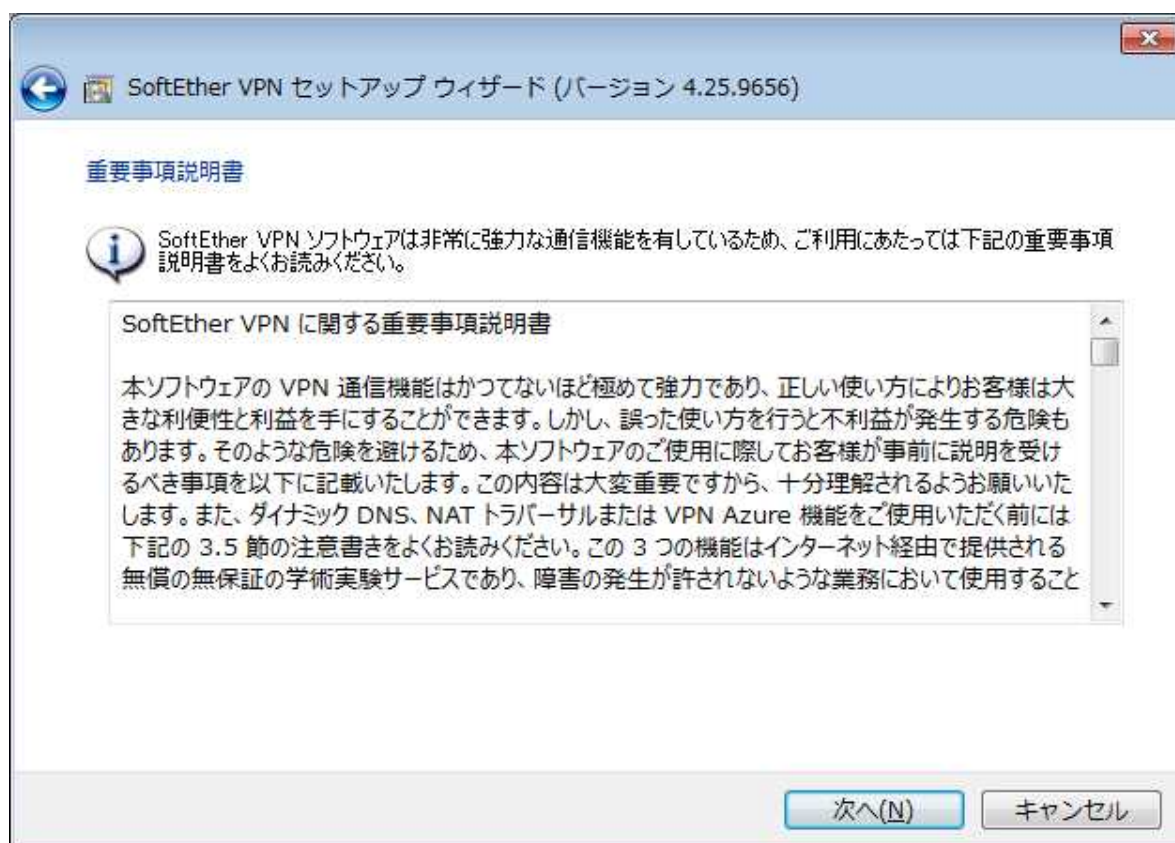
[SoftEther VPN Bridge] を選択します。

[次へ] を押下します。



用許諾契約書に同意します] を [✓] します。

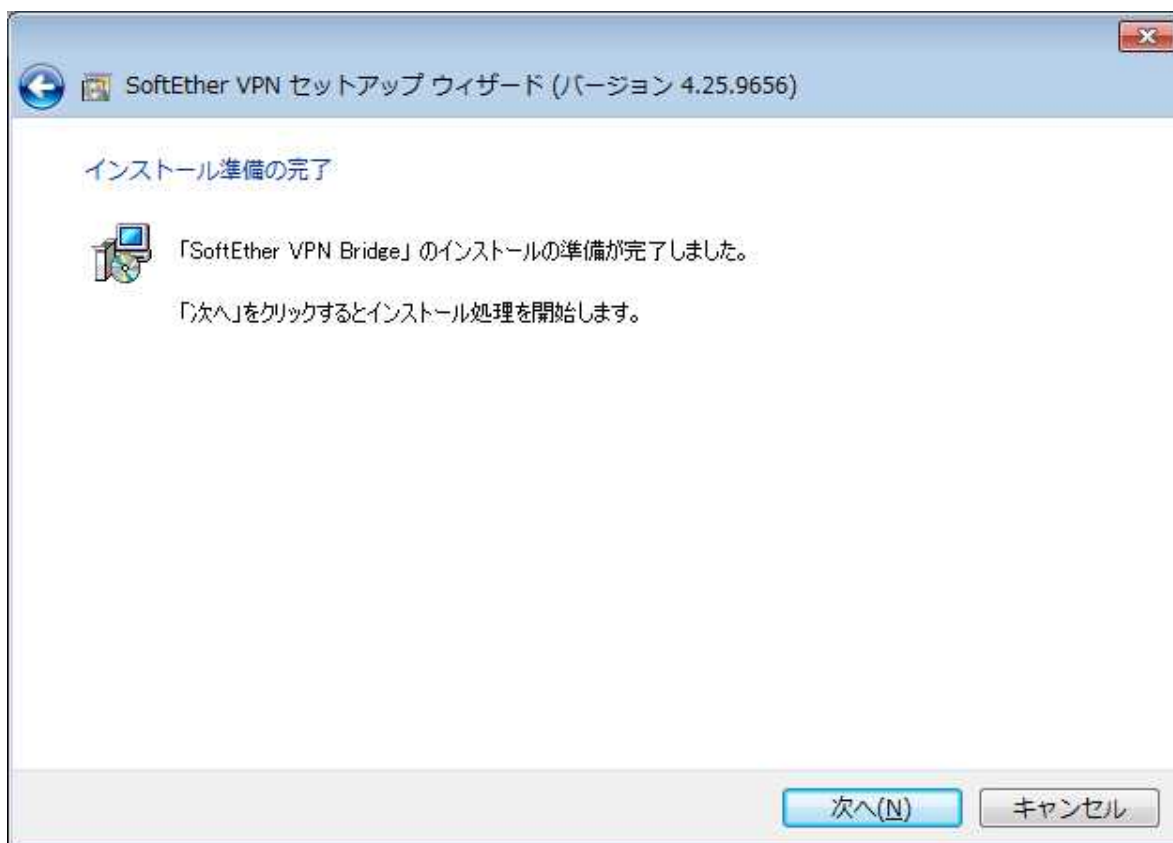
[次へ] を押下します。



[次へ]を押下します。

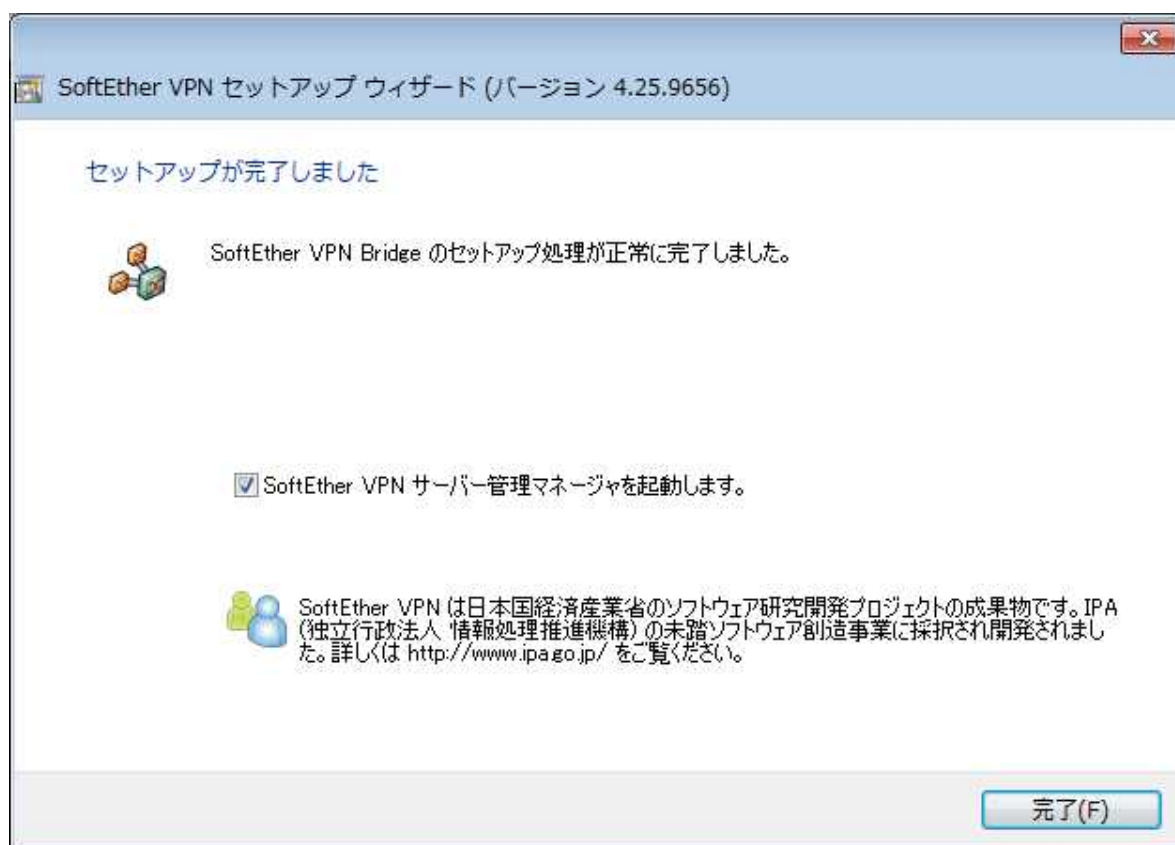


[次へ]を押下します。



[次へ]を押下します。





[完了]を押下します。

## 【2】 SoftEther VPN サーバー管理マネージャの設定

## ① VPN Bridge への接続設定の作成



[新しい接続設定]を押下します。

新しい接続設定の作成

管理する VPN Server の接続設定を行います。

接続設定名(N):

接続先 VPN Server の指定(B):

管理したい VPN Server が動作しているコンピュータのホスト名または IP アドレスおよびポート番号を指定してください。

ホスト名(H):

このコンピュータ (localhost) に接続(L)

ポート番号(P):  (TCP ポート)

経由するプロキシサーバーの設定(X):

プロキシサーバーを経由して VPN Server に接続することができます。

プロキシの種類(Y):

- 直接 TCP/IP 接続 (プロキシを使わない) (D)
- HTTP プロキシサーバー経由接続(I)
- SOCKS プロキシサーバー経由接続(K)

管理モードの選択とパスワードの入力(M)

VPN Server (には、サーバー管理モードと仮想 HUB 管理モードのどちらかのモードで接続できます。

サーバー管理モードで接続すると、VPN Server の設定とすべての仮想 HUB が管理できます。

仮想 HUB 管理モードで接続すると、権限を持っている仮想 HUB の管理ができます。

サーバー管理モード(S)     仮想 HUB 管理モード(U)

仮想 HUB 名(V):

管理モードで接続する際のパスワードを入力してください。

管理パスワード(A):

管理パスワードを保存しない(W)

[接続設定名]                    [VPN Bridge]と入力（推奨値）

[ホスト名]                      [ ]このコンピュータ（localhost）に接続を[]します。

[ポート番号]                    [5555]を選択します。

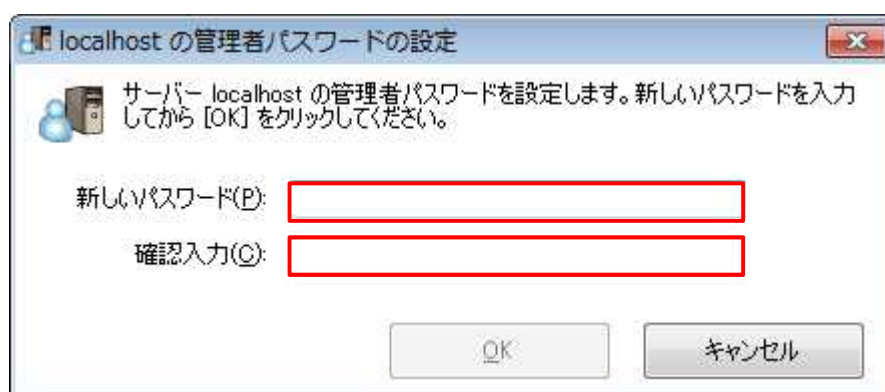
[OK]を押下します。





[VPN Bridge] を選択します。

[接続] を押下します。



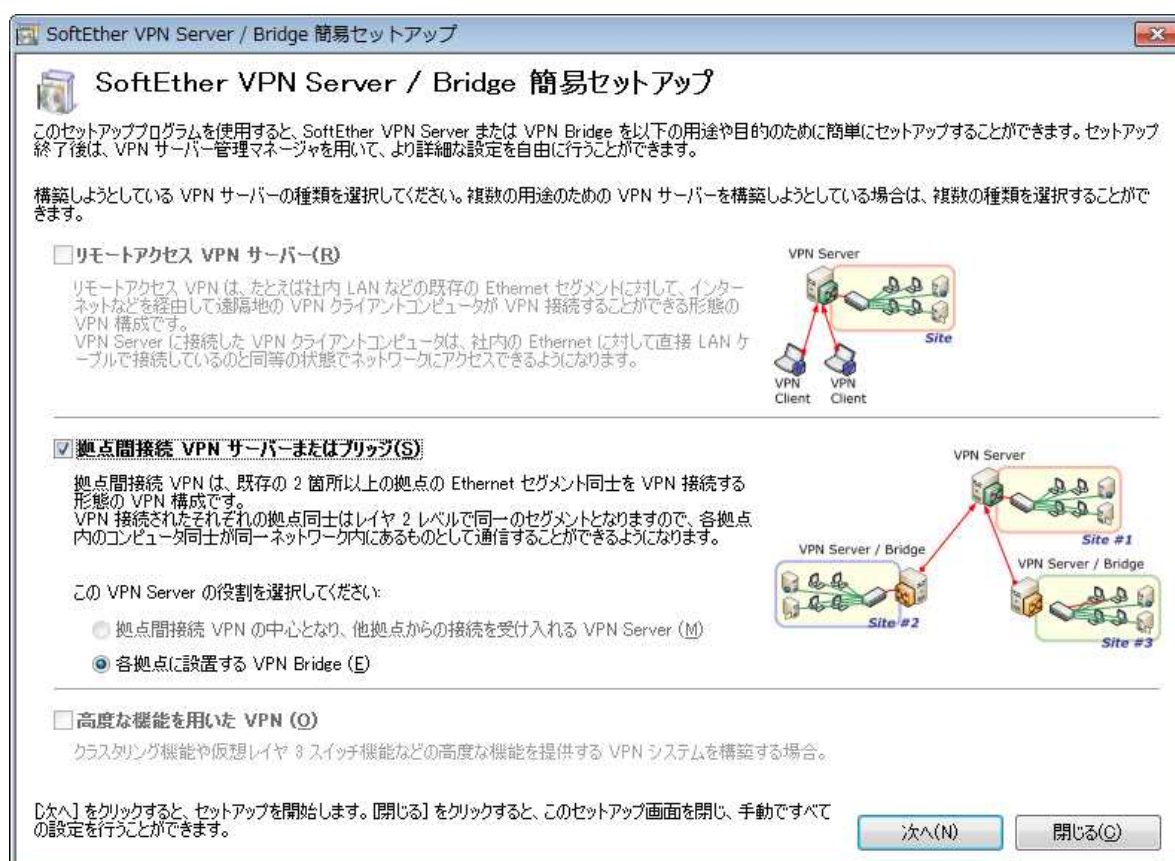
[新しいパスワード] にパスワードを入力します。

[確認入力] にパスワードを入力します。

[OK] を押下します。



[OK]を押下します。



[閉じる]を押下します。

## ② VPN Server へのカスケード接続設定の作成



[リスナーの管理]の[リスナー一覧]の[状態]で「エラー発生」が表示した場合、そのポート番号を選択し [停止]を押下してください。

※SoftEther VPN サーバー管理マネージャーはポート番号[5555]と通信します。

[仮想 HUB の管理]を押下します。



[カスケード接続の管理]を押下します。



[新規作成]を押下します。

「開通のご案内」を用意します。

[接続設定名]	[FLO] (エフエルオー) と入力 (推奨値)
[ホスト名]	[接続設定情報]のホスト名の値
[ポート番号]	[接続設定情報]のポート番号の値
[NAT-T 無効]	[ <input checked="" type="checkbox"/> ] チェック
[仮想 HUB 名]	[接続設定情報]の仮想 HUB 名の値
[認証の種類]	[接続設定情報]の認証の種類値
[ユーザー名]	[接続設定情報]のユーザー名の値
[パスワード]	[接続設定情報]のパスワードの値

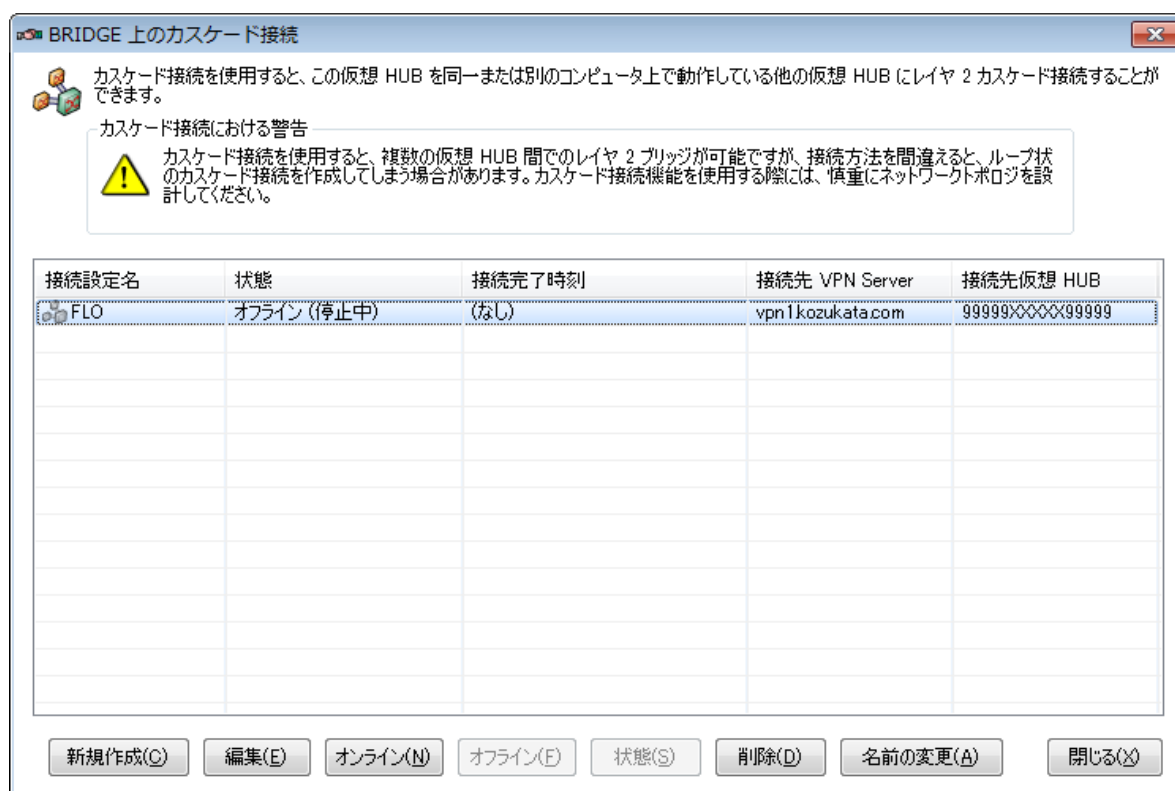
[経由するプロキシサーバーの設定]

プロキシサーバーをご利用の場合、プロキシの種類を選択後、[プロキシサーバーの接続設定]を押下します。

必要に応じて値を入力してください。

※ 確認方法 [インターネットのプロパティ]-[接続]-[LAN の設定]-[プロキシサーバー]

[OK]を押下します。



[FLO] を選択します。

[オンライン] を押下します。

[状態] に「**オンライン (接続済み)**」が表示されます。

[閉じる] を押下します。

[仮想 HUB の管理 - BRIDGE] の画面で [閉じる] を押下します。

[VPN Bridge - SoftEther VPN サーバー管理マネージャ] に戻ります。

## ③ ローカルブリッジの設定の作成



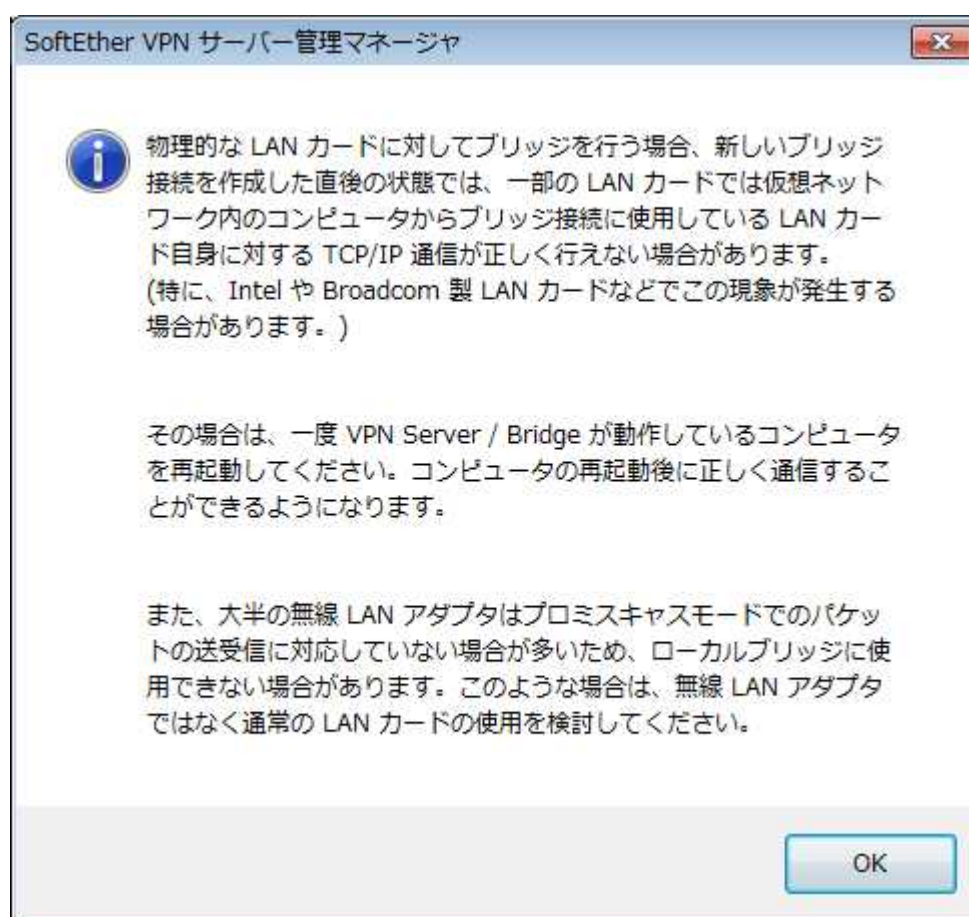
[ローカルブリッジ設定]を押下します。



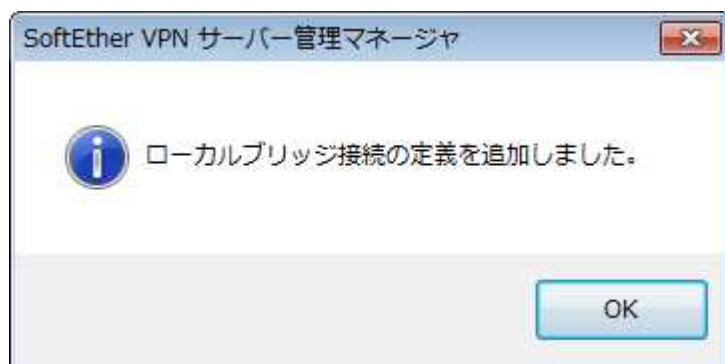
[ブリッジ先の Ethernet デバイス (LAN カード) を選択してください。]の [LAN カード] から目的の LAN カードを選択します。

[ローカルブリッジを追加]を押下します。





[OK]を押下します。



[OK]を押下します。

[状態]に「**動作中**」が表示されます。

[ローカルブリッジ設定]の画面で[閉じる]を押下します。

[VPN Bridge - SoftEther VPN サーバー管理マネージャ]の画面で[閉じる]を押下します。

[SoftEther VPN サーバー管理マネージャ]の画面で[SoftEther VPN サーバー管理マネージャの終了]を押下します。

以上で設定は完了です。

SoftEther VPN Bridge は、スタートアップの種類が自動のサービスで開始されます。

#### ※注意事項

ローカルブリッジ接続を構成してから一度コンピュータを再起動します。

再起動しない場合でもローカルブリッジは動作しますが、通信が不安定になる場合があります。

#### ※ログファイルについて

下記フォルダのログファイルを定期的に参照・削除してください。

¥Program Files¥SoftEther VPN Bridge¥backup.vpn\_bridge.config

¥Program Files¥SoftEther VPN Bridge¥packet\_log¥BRIDGE

¥Program Files¥SoftEther VPN Bridge¥security\_log¥BRIDGE

¥Program Files¥SoftEther VPN Bridge¥server\_log

## ④ 設定の作成後の確認と再編集



[LAN カード] - ローカルブリッジ - [BRIDGE / 仮想 HUB] - カスケード接続 - [VPN Server / 仮想 HUB]

## 確認

- SoftEther VPN サーバー管理マネージャ
  - [接続] ※[状態]の「**オンライン**」を確認します。
  - [接続] → [仮想 HUB の管理] → [カスケード接続の管理]
    - ※[状態]の「**オンライン (接続済み)**」を確認します。
  - [接続] → [ローカルブリッジ設定]
    - ※[状態]の「**動作中**」を確認します。

## 再編集

- VPN Bridge への接続設定の作成                    P. 7
- VPN Server へのカスケード接続設定の作成        P. 11
- ローカルブリッジの設定の作成                    P. 15

⑤ ユーザー認証に必要なパスワードの変更方法

SoftEther VPN サーバー管理マネージャーから変更します。

[接続] ボタン → [仮想 HUB の管理] ボタン → [カスケード接続の管理] ボタン → [オフライン] ボタン → [編集] ボタン → [ユーザー認証] グループボックスから変更します。

[オンライン] ボタンで再接続します。

### 【3】 その他

#### ① カスケード接続とは

VPN Server の仮想 HUB にカスケード接続します。

例) [LAN カード] - [BRIDGE / 仮想 HUB] - [VPN Server / 仮想 HUB]

#### ② ローカルブリッジとは

物理的な LAN カードと仮想 HUB との間でレイヤ2ブリッジ接続を構成します。

例) [LAN カード] - [BRIDGE / 仮想 HUB] - [VPN Server / 仮想 HUB]

#### ③ ログファイルについて

下記フォルダのログファイルを定期的に参照・削除してください。

¥Program Files¥SoftEther VPN Bridge¥backup.vpn\_bridge.config

¥Program Files¥SoftEther VPN Bridge¥packet\_log¥BRIDGE

¥Program Files¥SoftEther VPN Bridge¥security\_log¥BRIDGE

¥Program Files¥SoftEther VPN Bridge¥server\_log

### 【4】 ブリッジソフトウェアのアンインストール

1. [コントロールパネル] の [プログラムと機能] から、アンインストールします。

- ・ [SoftEther VPN Bridge] を選択します。

2. 設定データや書き出されたログファイルなどは、データの損失を防止するため自動的に削除されません。

- ・ ¥Program Files¥SoftEther VPN Bridge を削除します。